

平成31年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（前期）

| | |
|-------|--|
| 試験区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ） |
| 試験科目名 | <input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（心理学） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ） |
| 出題の意図 | 心理学、心理学研究法、統計学の考え方や、基本的な用語・概念についての知識を問うために「語句問題」を課す。また、それらを応用して人の行動や様々な現象について考える力を問うために「文章問題」を課す。 |

平成31年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（前期）
（専門試験） 心理学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 1枚、解答用紙 6枚を配付する。

解答用紙は全部で6枚ある。問1から問3については、それぞれ1枚ずつ解答用紙を用いること。問4は8つの用語のうち5つを選択したうえで、1枚の解答用紙を用いること。残り2枚は下書き用とする。

次の問いすべてについて解答しなさい。

問1 様々に変化する環境で私たちが生活するには感覚・知覚系の適応力が重要になるが、その具体例を挙げて説明しなさい。

問2 どのような認知的方略や傾向が私たちの問題解決に役立ったり、あるいは却って妨害効果を生むか、次の語をすべて使って説明しなさい。

アルゴリズム、ヒューリスティック、確証バイアス

問3 代表的な多変量解析法である「重回帰分析」、「主成分分析」、「因子分析」について、それぞれの特徴や相違点について言及しながら簡潔に説明しなさい。

問4 次の語句を簡単に説明しなさい。ただし下記8つの用語のうち5つを選択して解答すること。（5つを超えて解答した場合、点数の上位から5つ分のみを最終成績の対象とする。）

- ① A. ビネー (Alfred Binet)
- ② マインドワンダリング (mind-wandering)
- ③ 行動主義 (behaviorism)
- ④ 特徴検出器 (feature detector)
- ⑤ 燃え尽き症候群 (burnout)
- ⑥ 心の理論 (theory of mind)
- ⑦ 視交叉 (optic chiasm)
- ⑧ ROC 曲線 (receiver operating characteristic curve)